

芸工大生による伝統工芸の「工房体験報告会」を3/4に開催します

一般の方もご聴講いただけます



東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）では、今年度 山形県から委託を受け、県が誇る伝統工芸の技を次世代につなぐ試みとして、「伝統工芸品等後継者人材発掘支援事業」を行いました。この事業では、企画構想学科の3年生3名が「山形鋳物」（長文堂）と「桐箱」（有限会社よしだ）の工房にて、また2年生3名が「米沢織」（株式会社新田）の工房にて、計19時間ほどの制作を体験いたしました（写真左：株式会社新田での様子／写真右：長文堂での様子）。

このたび3月4日に、本学にて、工房体験報告会を開催いたします。学生自らの実地体験の成果を発表させていただくとともに、未来を担う若い世代の工房体験から見た伝統工芸の現状とこれからのについて、報告と提案をさせていただきます。

つきましては、一般の聴講者も聴講可能ですので、多くの方にお伝えいただきたく、事前告知および当日取材のお願いを申し上げます。

工房体験報告会「山形の伝統工芸を次世代へ」

日時：2021年3月4日（木）14:00～16:00

場所：東北芸術工科大学 本館208教室（山形市上桜田3-4-5）

担当教員：山下英一（やました・えいいち）企画構想学科教授

【発表内容】

1. 長文堂（鋳物工房／山形市）での制作体験
2. 有限会社よしだ（桐箱工房／山形市）での制作体験
3. 株式会社新田（米沢織／米沢市）での制作体験

聴講のご希望・ご来場について

- ・どなたでもご聴講可能です（事前のお申し込みは不要です。）
- ・会場受付にて新型コロナウイルス感染防止策を講じております。ご協力をお願いいたします。
- ・当日は受付にて名刺を頂戴いたします。お名刺をお持ちでない場合はご来場時ご記憶いただきます

お問い合わせ先 東北芸術工科大学 地域連携推進課（遠藤） TEL:023-627-2168